

□■ 19 ○○の得意技 ■□

～ 葉っぱや木の枝の得意技を即興劇で表現 ～

グループごとに用意された、葉っぱや木の実などの自然物。なぜこんな形？どうしてこの大きさ？といった疑問から、その自然物の得意技を考え、即興劇で表現します。想像力と演技力、チームワークが求められる、楽しくてチャレンジレベルの高いプログラムです。



シンプソン

*対象…小学校中学年～
*人数…5～6人のグループ
で40人程度まで
*時間…30分
#自然体験#イニシアティブ
#演じる

用意するもの

□ 木の実、枝、葉っぱなどの自然物（原則として落ちているもの）

進め方

- (1) 5～6人のグループに分け、用意した自然物を各グループに1つ渡します
- (2) グループでその自然物の得意技を考えます。小学校高学年以上の場合には、「その植物が繁殖する（生きのびる）ための得意技」といった条件をつけ、生態系の観点から考えることを促します
- (3) 得意技が見つかったら、それを劇でどう表現するか相談します（3分程度）
- (4) 各グループ1分以内で、即興劇を発表します

ふりかえり

- ・自然を見るときにどんな見方があると気づいた？
- ・自然の生き物は、どんな知恵を持っていた？
- ・自分たちの思いをうまく劇で伝えることができたか？
- ・自分たちのグループのチームワークはどうだった？

※このプログラムは、平成27年度体験学習サポーター養成講座「自然体験編」参加者の小口功一郎さん、勝水童空さん、佐藤央さんが作成しました。